

第六十六回大磯西行祭献詠俳句（選者の部）

うち仰ぐ富士の近さに西行忌

本井 英先生

円位忌の怒濤の足裏に聞いてをり

山田 真砂年先生

大磯の町の人々西行忌

岸本 尚毅先生

ほのぼのと老松に日ひや西行忌

山西 稚子先生

さへづりや遊子に開く円位堂

今村 妙子先生

第六十六回大磯西行祭献詠短歌（選者の部）

山道にすみれを見たるよろこびは今日いちにちに余りあるなり

柳 宣宏先生

脚を組み解ほどきふたび組み直しタブレット少女の思案はつづく

今井 恵子先生

震災の日より十日ののちに来る春の彼岸はかなしきものを

花山 多佳子先生